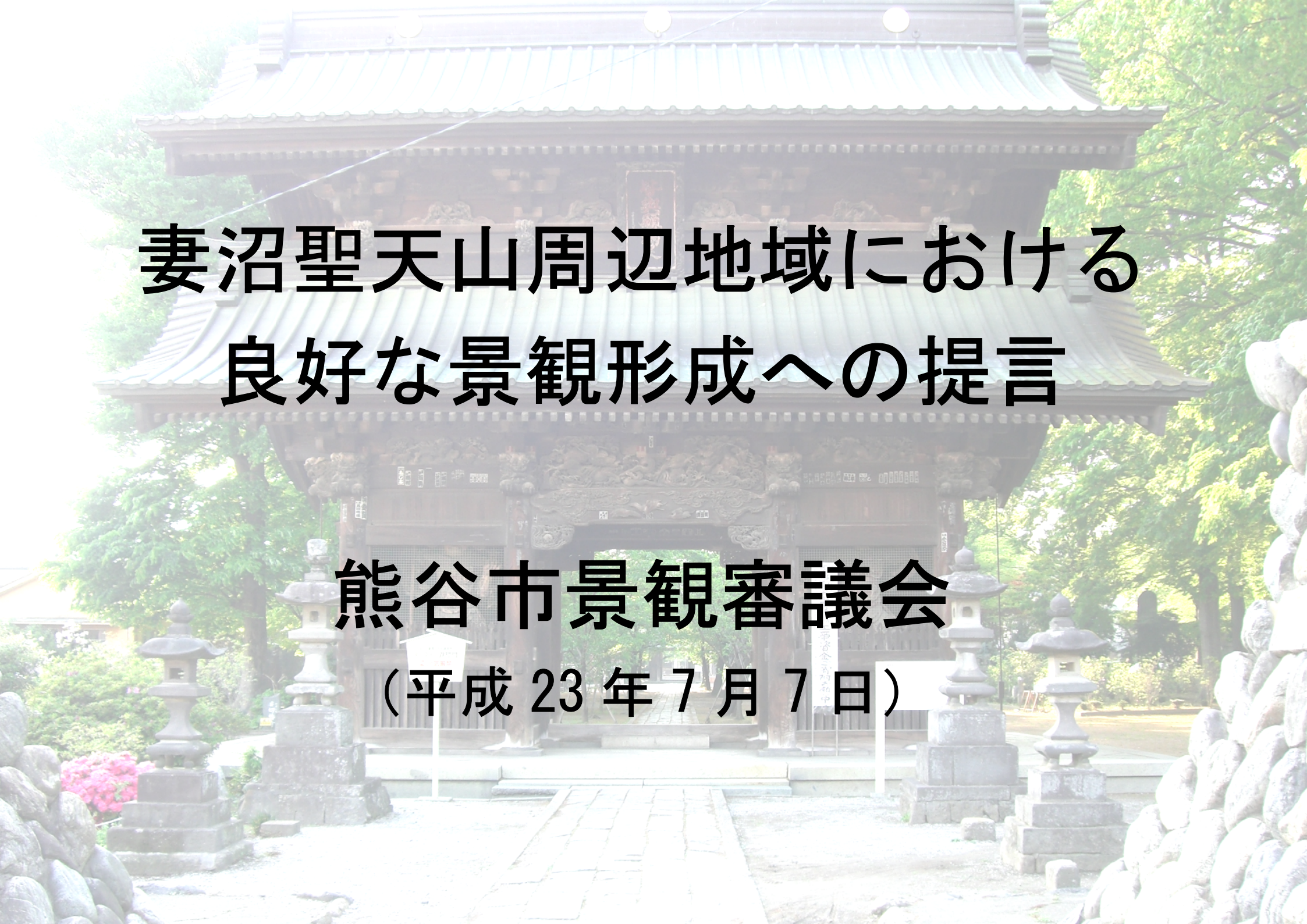


妻沼聖天山周辺地域における良好な景観形成への提言

熊谷市景観審議会

（平成 23 年 7 月 7 日）

1　妻沼聖天山とその周辺地域の良好な景観資源

商店街、比較的揃っている街並み、市街地内の樹林地はこの地域の歴史を感じさせる大事な景観資源であり、それらが妻沼聖天山を中心に比較的コンパクトに集まっていることが大きな特徴である。

また、地域の周囲には農地や河川といった豊かな自然が、少し離れるとグライダー場や荻野吟子記念館といった観光スポットもあり、これらを妻沼聖天山と結びつけることができれば地域の魅力は更に増すだろう。

さらに埼玉県北部という立地もあいまって、例えば都内からの日帰り観光地としての適性を十分有していると言える。

地域の方々による活発な活動も当地域のかけがえの無い魅力である。

その他
- 魅力的なスポットが点在する
- 聖天山を中心にコンパクトである
- 地域周囲に観光資源がある（グライダー場、荻野吟子記念館など）
- 充実した交通網、都心からの距離

地域の活動
- 緑のカーテン（あさがお）が綺麗
- 地域ボランティアの精力的な活動
- 古い写真は子どもたちの活気や伝統が感じられる

自然環境
- 新鮮な農産物
- 市街地の中のうっそうとした森がある
- 地域の周囲に広がる農地

街並み
- 建物が低く視界が広がって見える
- 小さな商店が集まっていて、回遊に適している
- 心がなごむ街中の落ち着いた色
- ある程度高さや外観等が揃った街並み

日帰り観光地としての適性

２　当地域の課題

当地域は古い建築物が比較的残存しているが、時代の移り変わりとともに徐々に減ってきており、昔をしのばせる風情ある街並みが失われてしまうことが懸念されており、これらをどのように保全していくかが課題である。

また、文化財や市街地内の樹林地といった点在するスポットの魅力をまだ引き出し切れておらず、これらの見せ方を工夫する、ユニークな地域情報を掘り起こして提供する、推奨ルートを設定して回遊しやすくするといった仕掛けも今後必要になってくるだろう。

地域の魅力を増すその他の方法としては、地域周辺部にある観光スポットや隣接する自治体との連携も考えられる。

これら課題を解決するため、また、地域を活気付けるためにも、幅広い世代が集えるような仕掛けが欲しい。

その他

- 安全に通れるような歩道の工夫
- 大型バスが入れる駐車場を起点として、そこから回遊してもらうための工夫
- 地域周囲にある観光資源との連携

地域の活動

- 地域情報の発信不足
- 景観資源や地域の魅力の見せ方
- 幅広い年代（商店主・お客さん）が集るような仕掛け
- 隣接自治体との協力
- 街中に子どもたちが集まる仕掛け

自然環境

- 街中に水を感じることができる場所が少ない

街並み

- 日本建築の良さを隠している看板建築
- 視界を妨げている電柱や電線等
- 失われつつある街並みの調和
- 古民家保存の難しさ

幅広い世代が意見を出し合うことが大事

３　提言　*次の世代に残すために・・・*

この地域には多くの魅力的な資源があることが分かった一方で課題も見つかった。
そこで、本殿の改修という大きなチャンスを得た当地域が、今後“らしさ”を残しつつ発展していくための提言を行う。

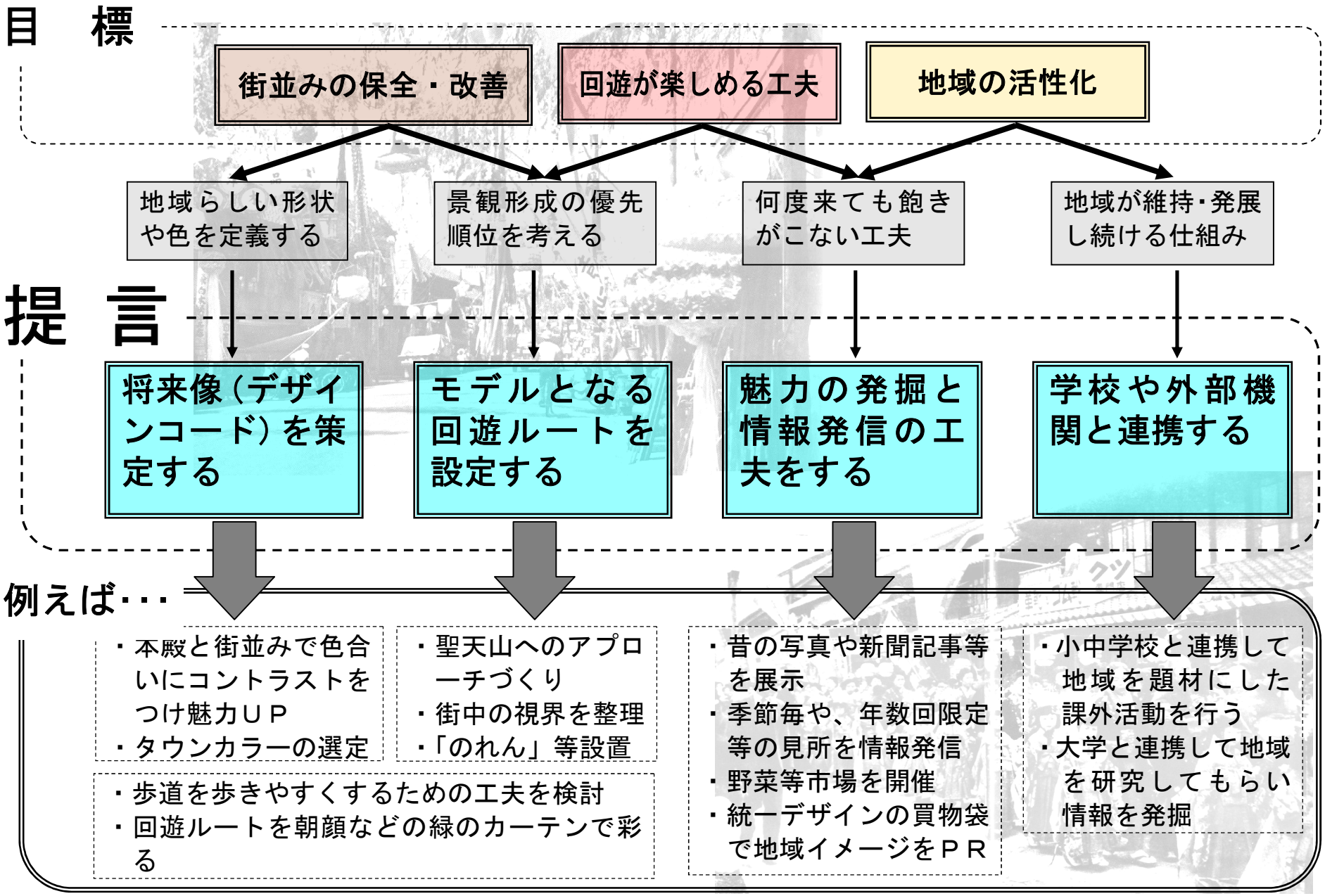
１　地域の将来像（デザインコード）をまとめる。地域で一から作成することが難しいならば専門家等に作成してもらい、それをたたき台として議論すると良い。

２　地域を訪れた人に地域の核となる聖天山までどう回遊してほしいのか、モデルとなるルートを設定し、そこから景観形成を手掛けて地域らしさを表現する。

３　何度来ても飽きがこない、他の地域との差別化がされた魅力づくりをする。歴史、地形、気候、人等の情報を深く掘り下げ、見せ方だけでなく魅せ方を工夫する。

４　学校や外部機関と連携して地域資源の発掘や魅力の増進を図る。特に地域の将来を担う子どもたちが地域に親しみ景観まちづくりに参加できるような仕掛けをする。

活動が活発な当地域ならば、この提言を単に具体化するのではなく、十分な議論のもと、提言をたたき台にしたさらに素晴らしい取組みを考え出し、実践することが可能だろう。
地域に根ざした景観まちづくり活動は、どんな課題も乗り越えることができるに違いない。
私たち景観審議会委員は、この地域の景観が今よりもっと素晴らしいものとなって次の世代に残されていく、と信じている。


目　標
街並みの保全・改善
回遊が楽しめる工夫
地域の活性化
地域らしい形状や色を定義する
景観形成の優先順位を考える
何度来ても飽きがこない工夫
地域が維持・発展し続ける仕組み
提　言
将来像（デザインコード）を策定する
モデルとなる回遊ルートを設定する
魅力の発掘と情報発信の工夫をする
学校や外部機関と連携する
例えば・・・
・本殿と街並みで色合いにコントラストをつけ魅力ＵＰ
・タウンカラーの選定
・聖天山へのアプローチづくり
・街中の視界を整理
・「のれん」等設置
・歩道を歩きやすくするための工夫を検討
・回遊ルートを朝顔などの緑のカーテンで彩る
・昔の写真や新聞記事等を展示
・季節毎や、年数回限定等の見所を情報発信
・野菜等市場を開催
・統一デザインの買物袋で地域イメージをＰＲ
・小中学校と連携して地域を題材にした課外活動を行う
・大学と連携して地域を研究してもらい情報を発掘